

女性部役員とJA常勤役員との語る会

1月29日、女性部役員とJA常勤役員との語る会が本部で開かれ、30人が出席しました。会では、依田かよ子部長と村山眞一郎組合長のあいさつのおと、本部と21支部の活動報告を行いました。引き続き、JAの事業(支店再編成)について統合される支部長より、活動拠点が変わることへの不安や今後の支部体制、部員減少など様々な意見・要望が出されました。

また、コロナ禍でイベントや料理教室、女性部のふれあいの旅など部員間の交流の場がなくなり女性部の活気が低迷しつつある中で、支部単位での活動とは別に他支部との交流活動や農業をしている女性部員を中心に学習会の開催など、新たな活動として活発な意見が出されました。

最後に2021年の総代選挙と女性総代15%85人を目標に掲げ女性の参画を図ることを確認しました。



■谷山東部支部

料理教室で魚料理堪能

1月13日、生活改善センターで料理教室のメンバー9人が「魚をさばく」をテーマに特別講座を開きました。

今回の特別講座では、中間拓弥さんの指導を受けながら、南さつま市笠沙町で水揚げされた新鮮なアジを使ってアジの三枚おろしや皮引きに挑戦しました。

部員らは1人2尾をさばき、苦戦しながらもひと通りの流れを覚えながらさばき方を学び、なめろう丼となめろうアレンジつみれ汁を調理しました。

参加者らは「自宅でもお魚1尾を購入して調理します」と改めて魚食を見つめる良い機会となりました。



■西谷山支部

部員の健康と新型コロナウイルス終息祈願

1月12日、部員とJA職員10人が谷山神社で健康と新型コロナウイルス終息を祈願しました。

同支部では、コロナ禍の中、自分たちが出来ることを模索しながら、年金支給日に手作りマスクのプレゼントや敬老の日にはイベントは開かず手作りのちらし寿司を配布するなど規模を縮小しながら支部活動を続けています。

今回は、感染防止対策として部員全員での参拝を避け、少人数で神社を訪れ、玉串を奉納しました。

川畑功美子支部長は「今後も部員らと心をひとつにして、この難局を乗り越えていけます」と話していました。



みいちゃん会開催

1月25日、グリーンセンター西谷山2階で「ふれあいみいちゃん会」が開かれ、15人が参加しました。

同支部では、茶飲みやカラオケが気軽に楽しめる女性部ならではの「拋り所」を作り、地域の方々に元気になりたいと数年前から準備を進め、2019年7月からスタートしました。

2020年度は新型コロナウイルスの影響で活動ができませんでしたが、数ヶ月ぶりに会を開き、村山組合長をモデルにしたオリジナルの「福笑いゲーム」など久しぶりの活動を楽しまれました。

